

学校だより



# 神津の学びや

たくましく しなやかに



伊丹市立神津小学校

校長 米田 博一

令和8年1月30日号

## オープンスクール・かみつっ子作品展

1月29日(木)から31日(土)まで、かみつっ子作品展を開催しています。そして作品展の最終日となる明日31日はオープンスクールとして、命の学習をはじめとした授業参観を実施します。

本校の作品展は、図工の平面作品・立体作品を中心に、廊下や特別教室を活用して展示しご覧いただいています。今回は伊丹と尼崎の朝鮮初級学校の子どもたちも作品を寄せてくれています。

作品づくりの過程では、子どもたち一人ひとりがそれぞれに思いを込めて、一生懸命作っていました。そして、完成した作品には、みんなその子らしさが発揮されています。

作品展、授業参観をとおして、子どもたちの頑張りをたくさん感じていただけるのではないかと思います。

体育館では、5・6年が、小児がんの子どもたちを支援するための販売活動を行います。ぜひお立ち寄りください！



## 2月の行事予定

1	日	
2	月	代休日
3	火	
4	水	
5	木	やきいも大会
6	金	関西エアポート出前授業(4年) 定時退勤日
7	土	
8	日	
9	月	やきいも大会予備日
10	火	一日入学
11	水	建国記念の日
12	木	スクールカウンセラーの講話(6年)
13	金	月曜校時 定時退勤 1年 13:30下校 3・4年 14:40下校
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	全校集会 定時退勤 日 非行防止教室(4年③ 5・6年④)
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	6年お別れ遠足 16:00頃下校 定時退勤日
28	土	

※予定は変更になる場合があります

## 3月の主な予定

- 3日(火) 授業参観・学級懇談会 制服受け取り(6年)
- 6日(金) 委員会
- 11日(水) 6年生送る会
- 15日(日) 創立記念日
- 18日(水) 給食最終日(6年) 卒業式準備(4・5年)  
13:30下校(1~3・6年)
- 19日(木) 卒業式(1~4年休校)
- 23日(月) 給食最終日 地区児童会 13:30下校  
北中新入生テスト
- 24日(火) 12:20下校
- 25日(水) 修了式 机・椅子移動(5年)  
11:00下校(1~4年) 12:00下校(5年)
- 26日(木)~4月7日(火) 春季休業日 裏に続きます →

## 子どもの上達につながる「縄跳び(跳び縄)」の選び方

子どもたちは学校で、文房具をはじめとして、さまざまな道具を使います。その道具の選び方は、学力の向上や技術の上達に大きな影響を与えます。大人の場合は、多少の使いにくさには目をつぶり、デザインを重視するという選択をすることもあります。しかし、子どもの場合には、おしゃれや見た目よりも、子どもに合っていること、子どもが使いやすいことを最優先に考え、適切な道具を選んであげたいものです。持っている文房具を友だちに「かわいい」とほめられて得られる満足感よりも、子どもの「できる」「できた」につながりやすい文房具を使い、そこから得られた達成感のほうが子どもの成長につながるのではないのでしょうか。

3学期は体育で縄跳びを行います。縄跳びは、体力や筋肉がつくのはもちろん、体幹が鍛えられてバランス感覚が身につく、運動能力の向上にもつながります。全身運動であるため、体全体をバランスよく鍛えることができます。

子どもたちの縄跳び(跳び縄)を見ていると、その子に合っていない縄跳びを使っている子が多く、上達の妨げになっていると感じることがよくあります。

### 縄跳びの種類

小学生には、細くて軽いビニール素材(中が空洞ではなくビニールが詰まっている)の縄跳びが適しています。素早く回すことができるため、二重跳びや交差跳びなど、やや難易度の高い技も習得しやすくなります。

一般的な素材なので手に入りやすく、100均のものから1,000円近いものまであります。高価なものは、冬でも縄が固くなりにくい、よれにくい、グリップが長く遠心力が得やすいといったメリットがあります。しかし、子どもは身長がすぐに伸び、買い換えが必要になるため、合わなくなったら買い換えやすい100均や200円程度のものでよいと思います。

低学年の子どもは入学前から使っている「ひも製」の縄跳びをそのまま使っていることが多いですが、これは縄跳びを始めたばかりの子が前跳びができるようになるために適したものです。ぜひ、ビニール素材の縄跳びに買い替えてあげてください。

### 縄跳びの長さ

縄跳びの長さの目安は、肘を曲げ、縄の中央を片足で踏み、グリップの付け根を腰から胸の高さに合わせることです。

子どもたちを見ていると、かなり長い縄跳びを使っている子が多いです。保護者の方としては、長い間使わせたいという思いから、縄を切ることをためらってしまうのかもしれませんが、上達のためには縄の長さは重要です。もったいないと思わず子どもに適した長さに切ってあげてください。

初心者はやや長め(胸の辺り)にします。あや跳びや交差跳びは、はじめは少し長めの方がやりやすいかもしれません。二重跳びに挑戦するようになったら少しずつ短くしていきます。いきなり切らず、縄の部分(左右のグリップ付近)に結び目を作って調節し、長さが決まってから切ると安心です。

最初に述べたように、どんな道具を使うかはとても重要で、縄跳びの場合は、長さや材質が上達を左右する大きなポイントになります。子どもの上達をサポートするためにも、縄が短くなったら買い替えてあげてください。ちなみに、少し手間はかかりますが、切れたビニール製(PVC)の縄跳びは、はんだごてやアイロンを使って修理することもできます。

縄跳びは様々な技があり、だれもが一つひとつスモールステップで達成感を味わうことができます。子どもたちには、縄跳びを楽しみながら、自然と運動能力や体力を高めていってほしいです。

絵が苦手なばくにならなくなってAIが絵を描いてくれました。すごい！ただ、縄跳びのグリップの向きはどうお願いしても変わりませんでした…

